

(財) ミズノスポーツ振興会 2008(平成20) 年度事業報告

2008(平成20) 年度も一昨年改定された文部科学省スポーツ振興基本計画に示された各施策に対し引き続き取り組みを行うとともに、(財) 日本体育協会を始め、第64回国民体育大会及び学校体育の各団体、並びに野球関係団体に対して応分の対応をしました。

また、女性スポーツの振興にも協力しました。

そして、スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究助成事業についても継続するとともに文部科学省主催の「生涯スポーツコンベンション」「スポーツコーチサミット」の発展に引き続き協力しました。

さらに、継続自主事業の「ミズノスポーツメントール賞」「ミズノスポーツライター賞」に対し助成を行いました。

2008(平成20) 年度の事業は次の通りです。

1. 競技スポーツ、国民スポーツに関する普及振興並びに強化に対する助成 800万円
 - (1) (財) 日本体育協会に対する助成
(国体推進事業協力、日本スポーツ少年団全国大会協賛及び
情報システムの充実提供費等含む) (800万円)
2. 国民体育大会に関する振興助成 1,900万円
 - (1) 第64回国民体育大会 (1,350万円)
 - 冬 スケート・アイスホッケー 青森県 《200万円》
 - 冬 スキー 新潟県 《400万円》
 - 夏・秋 新潟県 《750万円》
 - (2) ブロック別総合体育大会に対する助成 (450万円)
 - (3) 日本スポーツマスターズ2008 (高知県) に対する助成 (100万円)
3. 学校体育、社会体育に関する研究助成 300万円
 - (1) (財) 日本中学校体育連盟に対する助成 (100万円)
 - (2) (財) 全国高等学校体育連盟に対する助成 (100万円)
 - (3) (社) 全国体育指導委員連合に対する助成 (100万円)
4. スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究助成 2,300万円
 - (1) スポーツ学、スポーツ医・科学等の研究助成 (2,000万円)
 - (イ) 「男子一流長距離選手の身体部分慣性係数の算出と
走動作分析への応用」 《100万円》
岡田英孝(電気通信大学准教授)
 - (ロ) 「遅発性筋肉痛による筋機能の変化と
そのメカニズムの解明」 《100万円》
栗原俊之(早稲田大学スポーツ科学学術院客員研究助手)
 - (ハ) 「日本国民を対象とした二重標識水法による
身体活動量調査結果の系統的レビュー及び
統括データベースの構築とその解析」
《100万円》
海老根直之(同志社大学スポーツ健康学部専任講師)
 - (ニ) 「生涯スポーツにおける健康なからだづくりとしての
リズム系の体操・ダンスに関する研究－感覚的尺度・
感情状態尺度・免疫機能・体力測定からのアプローチを
手掛かりにして－」 《100万円》
笹本重子(日本女子体育大学准教授)
 - (ホ) 「筋肥大時における筋衛星細胞と既存筋繊維との融合の
制御機構について」 《100万円》
石道峰典(大阪体育大学大学院助手)
 - (ヘ) 「ヘリウム酸素混合ガス吸入による換気量増加が高所での
運動パフォーマンスや、トレーニング効果に及ぼす影響」
《100万円》

- 小川剛司（筑波大学大学院人間総合科学研究科研究員）
- (ト) 「テンポに合わせたステップによる高齢者の転倒
予防エクササイズの開発」 《100万円》
出村慎一（金沢大学大学院自然科学研究科教授）
- (チ) 「運動部活動におけるスポーツ経験とライフスキルの
因果関係の検討」 《100万円》
島本好平（東京工業大学大学院社会理工学研究科特別研究員）
- (リ) 「人の身体にやさしい人工芝の開発に関する基礎研究」
《100万円》
青木豊明（びわこ成蹊スポーツ大学教授）
- (ヌ) 「スポーツ動作における関節負担の導出および
装着型支援デバイスによる運動支援の検討」
《100万円》
小菅一弘（東北大学大学院工学研究科教授）
- (ル) 「スポーツ活動を中心とした生活習慣改善介入が
メタボリックシンドロームに及ぼす効果」
《100万円》
片山靖富（筑波大学大学院人間総合科学研究科研究員）
- (ヲ) 「クロス・メディア時代におけるグローバル・スポーツ・
イベントに関する研究ー北京オリンピックを事例としてー」
《100万円》
高橋利枝（立教大学社会学部准教授）
- *以下は09年度分（選考時期を5月を2月に早めた）
- (ワ) 「小規模自治体におけるスポーツ組織マネジメント
中核組織のリーダーシップに関する事例研究」
《100万円》
松橋崇史（慶應義塾大学政策・メディア研究科特別教員）
- (カ) 「プレッシャー下における運動制御の神経生理学的検討」
《100万円》
田中美吏（広島大学大学院総合科学研究科契約技術職員）
- (ヨ) 「身体運動におけるリラックスに関わる神経機構の解明」
《100万円》
村岡哲郎
（早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構客員研究講師）
- (タ) 「新規インスリン抵抗性発生活性因子「脂肪負荷感受性」に
対するスポーツの役割」 《100万円》
田村好史（順天堂大学代謝内分泌学講座准教授）
- (レ) 「有酸素運動による食後中性脂肪濃度の経時的変化
：簡易測定器による評価」 《100万円》
宮下政司
（筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学研究員）
- (ソ) 「ソフトマターを用いたスポーツ用材料の
ダイラタント特性の解明」 《100万円》
松田昭博（筑波大学講師）
- (ツ) 「高齢者における生活機能改善のための複合型水中運動の
有効性」 《100万円》
小泉大亮
（名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科助教）
- (レ) 「MRIを用いた骨盤・股関節のダイナミック解析」
《100万円》
中井隆介（京都大学再生医科学研究所）
- (2) 国立スポーツ科学センターにおける医科学研究助成 (100万円)
- (3) (財) 日本アンチ・ドーピング機構運営に対する助成 (200万円)

5. 地域スポーツ普及振興に対する助成 700万円

- (1) 総合型地域スポーツクラブ育成、普及に対する助成 (500万円)
- (イ) 平成20年度全国総合型地域スポーツクラブマネジャー研修会

	《200万円》	
(ロ) 総合型地域スポーツクラブ育成、普及 (財) 日本体育協会事業助成	《150万円》	
(ハ) (財) 日本スポーツクラブ協会事業助成	《150万円》	
(2) へき地学校及び遠隔地体育・スポーツ大学のスポーツ振興	(200万円)	
(イ) (財) ベルマーク教育助成財団	《100万円》	
(ロ) 国立大学法人鹿屋体育大学ミズノ奨学金		
6. 野球に関する普及振興並びに研究助成		800万円
(1) アマチュア野球に対する助成	(100万円)	
(イ) 全日本アマチュア野球連盟	《100万円》	
(2) 社会人野球に対する助成	(100万円)	
(イ) (財) 日本野球連盟	《100万円》	
(3) 学生野球に対する助成	(300万円)	
(イ) (財) 全日本大学野球連盟	《100万円》	
(ロ) (財) 日本高等学校野球連盟	《100万円》	
(ハ) (財) 日本学生野球協会	《100万円》	
(4) 少年野球に対する助成	(100万円)	
(イ) 全日本少年野球振興会	《100万円》	
(5) 野球バットの資源保全に対する助成	(100万円)	
(イ) 特定非営利活動法人 アオダモ資源育成の会に対する助成	《100万円》	
(6) 地域生涯スポーツに対する助成	(100万円)	
(イ) 特定非営利活動法人 日本ティーボール協会	《100万円》	
7. 女性スポーツに対する振興助成		200万円
(1) (社) 日本女子体育連盟	(100万円)	
(2) 第30回クィーンシリキットカップ アジア太平洋 アマチュアゴルフチーム選手権 (千葉県)	(100万円)	
8. ジュニア育成に対する助成		500万円
(1) (財) 日本ゴルフ協会	(200万円)	
(2) (財) 日本テニス協会	(100万円)	
(3) 特定非営利活動法人 柔道教育ソリダリティー	(100万円)	
(4) (社) 日本ライフル射撃協会	(100万円)	
9. ウォーキングの普及振興に対する助成		150万円
(1) (社) 日本ウォーキング協会	(150万円)	
10. ラジオ体操の普及振興に対する助成		50万円
(1) 全国ラジオ体操連盟	(50万円)	
11. スポーツ競技と運営に係わる紛争の仲裁事業への協力		50万円
(1) 日本スポーツ仲裁機構	(50万円)	
12. 国民スポーツ普及振興助成		100万円
(1) 「体育の日 中央大会」に協賛	(100万円)	
13. 生涯スポーツコンベンションへの開催協力		300万円
14. スポーツコーチサミットへの開催協力		300万円
15. 財団自主事業		5,920万円

- (1) 2008年度ミズノスポーツメントール賞、同ライター賞 (1,872万円)
- (2) ミズノスポーツ財団資料館管理 (48万円)
- (3) 記念事業積立金 (4,000万円)

合 計

14,370万円